

# 建設通信新聞

## 会員サービス質向上

日測協

日本測量協会は、東京都文京区の東京ドームホテルで第73回定時総会を開き、22年度の事業報告と決算を承認した。任期満了に伴う役員改選では清水英範会長と村上真幸副会長、住田英二専務理事兼常務理事を再任した。



冒頭、清水会長はコロナ禍の3年間を振り返りながら「オンライン対応でいろいろな経験を積みノウハウもできた。現在、それをフル活用することで事業のクオリティや会員サービスが上がってきている側面もある。測量機械器具、測量成果品の検定業務も順調に推移している中で、公益法人としてアフターコロナの事業をどう展開するか検討しており、会員サービスの質もさらに向上させていきたい」と語った。写真。

23年度は、測量・地理空間情報技術の普及発達とともに、空間情報総括監理技術者資格制度、地理空間情報専門技術認定制度の一層の充実など専門技術者の地位向上に努める。また、測量機器の検定、測量成果の品質確保のための検定、測量・地理空間情報コンサルタント業務などに関する調査研究を推進する。

(6・22)